

豊かな自然環境や観光資源に恵まれた、人と人が温かくふれあうまち



にしかん

第317号

令和2年(2020年)

6月21日

毎月第1・3日曜日発行

【編集・発行】新潟市西蒲区役所 地域総務課
〒953-8666
新潟市西蒲区巻甲2690番地1
電話 0256-73-1000(代表)
FAX 0256-72-6022

≪ 西蒲区ホームページ ≫
<http://www.city.niigata.lg.jp/nishikan/>

● 西蒲区データ 人口 56,118人 (-56) 世帯数 20,626世帯 (+4) 男 27,188人 (-26) 女 28,930人 (-30)

※5月末現在の住民基本台帳。
カッコは前月末比

西蒲区特色ある区づくり事業 新たな産地づくりプロジェクト

にしかん なないろ野菜 夏特集

なないろ野菜
キャラクター



問い合わせ
産業観光課農業振興グループ
☎0256-72-8407

にしかん なないろ野菜で食卓を彩りませんか?

＼飲食店のみなさん、カラフルでかわいらしい野菜をメニューに加えてみませんか！

「にしかん なないろ野菜」は、西蒲区で生産されている「色や大きさ、形などに特徴のある珍しい野菜」をブランド化し販売している野菜です。区の事業として昨年度から栽培を始め、約30人の生産者が、25品種ほどを生産・販売しています。カラフルでかわいらしいなないろ野菜は、家庭や飲食店などのさまざまな料理におすすめです。皆さんも家庭やお店のメニューになないろ野菜を加えてみませんか。



紅かぶ



黄かぶ

スイス
チャード



リーフ
レタス



～生産者の声を紹介します～

真島 ゆりか さん



「なないろ野菜は、彩りが良いため、料理の際、色合いが欲しい時に重宝しています。ぜひ、飲食店の方にも手に取ってほしいです」

＼私の一押し なないろ野菜／
ねばねばオクラ
7月～9月頃 販売予定



薬物や人参と一緒にゆでて、めんつゆで和風に、ごま油で中華のナムルに。お弁当にも合う。

間宮 愛美 さん



「栽培時に、虫や病気が出ないように気を付けています。大変なこともあります。たくさん採れるように頑張りたいです」

＼私の一押し なないろ野菜／
マッチャン (韓国カボチャ)
6月～7月頃 販売予定



スライスして生で、めんつゆをかけるだけでも、おいしい。天ぷらや味噌汁にもオススメ。

齋藤 こずえ さん



「作った野菜を食べてくれる人がいると、張り合いが出てきます。また食べたいと思ってもらえるものを作りたいです」

＼私の一押し なないろ野菜／
イエローズッキーニ
6月～7月頃 販売予定



ナスや玉ねぎとニンニクを加えて炒め、トマトと一緒に煮込むラタトゥイユがオススメ。

*** 販売コーナーのご案内 ***

「にしかん なないろ野菜」は連携先直売所「越王(こしわ)の里」で販売中です。これからの季節は夏野菜を販売予定です。暑い夏に負けないように、栄養をつけましょう!
※品目によっては、品薄・販売終了になる場合があります

こしわ さと
●越王の里 農産物直売所 (JA 越後中央)
店舗所在: 新潟市西蒲区竹野町2435-1
営業時間: 午前10時～午後3時
電話番号: 0256-72-2332
店舗情報: 公式facebook(フェイスブック)を確認してください

Facebookはこちら 

なないろ野菜はほかにも盛りだくさん。区では、なないろ野菜を栽培する会員を募集中です!詳しくは産業観光課まで問い合わせてください。

西蒲区特色ある区づくり事業 にしかん環境にやさしい農業実践について

近年、農業は安心・安全な農産物の生産だけでなく、環境保全・資源循環などの取り組み、周辺地域の生活環境への配慮が求められるようになってきました。そこで、農業が主要産業である西蒲区において、生産者有志が「にしかんエコアグリグループ」を立ち上げ、下記の共同宣言を発表しました。参画団体・生産者と関係機関が一丸となり、産地の意識醸成を図り、具体的な取り組みを進め、その取り組みを広く発信していきます。

にしかん農業 環境配慮共同宣言


「私たちは、西蒲区の豊かな自然と恵まれた生活環境を守りながら、持続可能な農業の実践を目指します」

令和2年6月1日 にしかんエコアグリグループ


※園芸部門においても、現在、複数の生産者団体が可能な取り組みについて検討を進めています
※趣旨に賛同してもらえる生産者団体を募集しています。詳しくは産業観光課に問い合わせてください

～参画団体・生産者のみなさん～

水田農業部門 MOA自然農法新潟市普及会 代表 今井 啓徳さん




「学校で児童への啓発など積極的に活動しています。今後は消費者の理解を深めるため、自然農法発表会を開催するなどPRしていきます」
自然農法…農薬や化学肥料に頼らず、自然の力を活かした栽培方法
※部門にはほかにも中之口特別栽培米部会が参加




小学校での課外授業

果樹部門 越王おけさ柿振興協議会 会長 大谷 学さん




「地域に愛される産地を作っていくため、農薬の飛散防止を徹底し、近隣住民に配慮した農作業を継続、産地の剪定枝などの有機質資源の有効活用を検討していきます」




熱心に検討を重ねる様子

畜産部門 (有)阿部畜産 代表取締役 阿部 俊夫さん



「養豚家4戸・酪農家12戸・養鶏家1戸で活動しています。区内の畜産業で共通意識をもって臭気対策に取り組めます。地域の方々の理解を得るため、消臭剤の積極的な利用などの確かな対策に取り組み、改善に努めています」



畜舎の衛生管理